

かみしおじりみどりかい

上塩尻水土里会（上田市）

・組織の活動面積 A= 18.93 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) □
・組織の構成員数 約 120 人	取組開始年度	平成26年～	平成26年～	—

構成員	農業者、上塩尻集落営農組合、JAファーム、上塩尻自治会、上塩尻営農推進委員会、上田市樹網土地改良区、上田市坂城町欠口土地改良区、堀越堰水利組合、上塩尻基盤整備組合、上塩尻第2基盤整備組合、ゆうすげと蝶の里
-----	--

○組織の概要

上塩尻地域は上田市北西部に位置し、市街地に近く交通の利便が良いことから宅地化が進みました。かつては蚕種で栄え、戦後は酪農に取組、花卉や蔬菜栽培も盛んな地域でした。30有余年続く小麦(10ha)と大豆(8ha)の採種栽培は、集団化・団地化が整い、主要作物となっています。1960年前半から始まったトラクターの共同利用は、集落営農組合の法人化につながり、農地の集積と地域農業を担っています。

持続可能な農業と新たな地域づくりを目指して、上塩尻水土里会を立ち上げました。荒廃農地を生まない、地域住民による環境の整備、伝統文化の継承などを主題に掲げています。会が催す研修会・先進地視察は、新技術の習得や課題を見出し、魅力と関心に触れながら、活動への参加と担い手としての度合いを深める機会となっています。

持続可能な農業と新たな地域づくりを目指して

■活動の状況



自然観察会



総合的な学習「稲づくり」の手伝い



畦畔の草刈り



水路の泥上げ



水路の補修



「野芝」について研修:京都府立桂高校



農道の補修



住民と共に外来種駆除

【対象区域】

